

討

論

3月定例会では、令和5年度一般会計・特別会計・公共下水道事業会計予算の採決前に、6人の議員が会派を代表して反対・賛成の意見を述べました。



この討論とは、本会議において、採決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対か、自己の意見を表明することをいいます。

反対

日本共産党

宮脇 俊彦

新型コロナウイルスの感染拡大が継続し、長期化の様相を呈し、大きな影響を与え続けた結果、国民生活や中小事業者を厳しい状況に追い込み、いまだにその解決のめどが立たない状況である。市政の最大の役割は、市民の暮らし応援、福祉、教育の充実であるが、予算規模から見ても、教育福祉関連の独自施策の予算はあまり増えておらず、伊勢原市の将来像においても、市民生活に対する展望が見えない。

賛成

公明党

今野 康敏

第6次総合計画に掲げた事業を中心に、小児医療

第6次総合計画に掲げた事業を中心に、小児医療

創政会

館 大樹

ハード面では、公共施設の老朽化対策等の大きな懸案事項、課題に取り組む。ソフト面では、小児医療費助成の所得制限の廃止など、子育て支援の充実につながる施策が盛り込まれるなど、創意と工夫を凝らし、市民生活の質や利便性の向上、選ばれるまちづくりに向けた予算案であるものと評価する。

今後も、市長のリーダーシップの下、引き続き

伊勢原大山インター周辺の開発や伊勢原駅北口周辺地区整備等、今後本

いせはら未来会議

橋田 夏枝

令和5年度の予算案は、財政健全化を進めながら、コロナで傷んだ市内経済を取り戻し、第6次総合計画の初年度にふさわしい10年先を見据えたまちづくりの予算編成であった。第6次総合計画にある暮らしやすさ実感都市の実現に向け、新たな生活様式を取り入れた時代の変化や市民ニーズの多様化、人口減少を見据えながら、持続的に発展する指針づくりに期待する。伊勢原に住んでよかった、暮らしやすいと市民に思ってもらえるよう全庁一丸となって目標を達成することを要望し、本予算案の賛成討論とする。

いせはら進誠会

山田 昌紀

市民にとってますます環境に配慮した暮らしやすいまちづくりを一步でも進めていくことを期待し、賛成討論とする。



令和4年度会派別政務活動費の主な用途を公表

政務活動費は、地方自治法や市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として各会派に対し交付されます。

交付額は、所属議員一人当たり月額2万円です。(残金が生じた場合は返還) 各会派の収支報告書は市政情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。

Table with 5 columns: 会派, 所属議員, 交付額(円), 支出額(円), 主な用途. Rows include 創政会, いせはら未来会議, 公明党, 日本共産党, 神奈川ネット, 光風会, いせはら進誠会.

※所属議員は令和5年3月1日現在